

平成22年度日本魚病学会大会のご案内

会場ならびに日程

大会会場：三重大学生物資源学部生物資源学科棟

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 (<http://www.bio.mie-u.ac.jp/>)

大会日程：平成22年9月21日(火)～22日(水)

月 日	時 間	行 事	場 所
9月21日(火)	9:30～12:00	一般研究発表	218番教室
	12:00～13:00	平成22年度 学会賞選考委員会	220番教室
	13:00～17:30	一般研究発表	218番教室
	18:00～19:00	平成22年度 第2回評議員会	220番教室
9月22日(水)	9:00～12:00	一般研究発表	218番教室
	13:00～13:30	平成22年度 日本魚病学会総会	同上
	13:30～15:00	平成21年度 日本魚病学会賞受賞者講演	同上
	15:15～18:00	一般研究発表	同上

大会会場へのアクセス：

三重大学生物資源学部ホームページ (<http://www.bio.mie-u.ac.jp/>) のアクセスマップをご覧ください。

1) 近鉄「江戸橋駅」から

・徒歩

近鉄「江戸橋駅」から徒歩で約15分。

2) 「津駅」から

・近鉄

「津駅」から名古屋方面行き電車で「江戸橋駅」下車（1駅）。「江戸橋駅」から徒歩で約15分。

・三交バス（三重交通バス）

津駅東口バスのりば「4番」から、三交バス「白塚駅前」「椋本」「豊里ネオポリス」「三重病院」「太陽の街」「サイエンスシティ」「三行」「高田高校前」行きで、「大学前」下車。「津駅」から「大学前」まで約10分。

・タクシー

「津駅」から約10分。

3) 「津新港（津なぎさまち）」（中部国際空港から船で40分。詳細は津エアポートラインのホームページ (<http://www.tsu-airportline.co.jp/top.php>) をご覧ください) から

・連絡バス

「津新港（津なぎさまち）」から「津駅」まで連絡バスで約10分。「津駅」から大学までのアクセスは上記「津駅から」を参照下さい。

・タクシー

「津新港（津なぎさまち）」から約15分。

平成21年度日本魚病学会賞受賞者講演

9月22日(水) 13:30~15:00

(生物資源学科棟218番教室)

日本魚病学会賞 中井敏博氏: 養殖魚の細菌病とウイルス病の病原機構およびその防除対策に関する研究

日本魚病学会研究奨励賞 良永知義氏: ヒラメのネオヘテロボツリウム症に関する研究

和田新平氏: 魚病の原因究明のための病理組織学的研究

一般研究発表プログラム

(生物資源学科棟218番教室)

9月21日(火)

座長: 引間順一 (Gyeongsang Nat. Univ.)

- 9:30 101 クルマエビ (*Marsupenaeus japonicus*) の astakine 遺伝子に関する研究
.....°稲田真理・奥川翔吾・西 純市・吉峰 慎・吉田照豊・酒井正博・伊丹利明 (宮崎大農)・
河野智哉 (宮崎大 IR 推進機構)・米加田徹 (水研セ養殖研)
- 9:45 102 マハタの Poly (I:C)-免疫法における最小必要ウイルス量
.....°高見生雄 (長崎水試)・西澤豊彦・Myung-Joo Oh (全南大水医)・吉水 守 (北大院水)
- 10:00 103 弱毒生ワクチン BCG により誘導される魚類の非特異免疫機構に関する研究
.....°加藤豪司・近藤秀裕・青木 宙・廣野育生 (海洋大院)

座長: 倉田 修 (日獣大)

- 10:15 104 ヒラメ IPS-1 の抗ウイルス活性およびインターフェロン関連遺伝子の発現誘導
.....°引間順一・大谷真紀・Rhoda M Cerbo (Gyeongsang Nat. Univ.)・近藤秀裕・
廣野育生 (海洋大院)・Tae-Sung Jung (Gyeongsang Nat. Univ.)・
青木 宙 (海洋大院, Gyeongsang Nat. Univ.)
- 10:30 105 発現ライブラリーの抗体スクリーニングによるヒラメ食細胞膜タンパク質遺伝子の選択的クローニング
.....°松山知正・高野倫一・中易千早 (水研セ養殖研)
- 10:45 106 異なるヒラメ白血球亜集団から構築した cDNA ライブラリーを用いた EST 解析
.....°高野倫一・藤原篤志・松山知正・中易千早 (水研セ養殖研)
- 11:00 107 ヒラメにおける病原微生物特異的に働く免疫関連遺伝子の探索
.....°川名由利子・鈴木克彰・近藤秀裕・青木 宙・廣野育生 (海洋大院)

座長: 黒田 丹 (日生研)

- 11:15 108 非病原性 *Edwardsiella tarda* をヒラメに接種した際の感染防御効果
.....°高野倫一・松山知正・大迫典久・坂井貴光・釜石 隆・中易千早・
佐野元彦・飯田貴次 (水研セ養殖研)
- 11:30 109 ヒラメにおける *Edwardsiella tarda* 不活化ワクチンによる免疫応答の発現解析
.....°鈴木克彰・近藤秀裕・青木 宙・廣野育生 (海洋大院)・高橋幸則・
福田耕平・河村 慶・近藤昌和 (水大校)
- 11:45 110 ギンブナに対する *Edwardsiella tarda* の生菌およびホルマリン不活化菌体接種後の免疫応答の比較
.....°山崎雅俊・荒木亨介 (鹿大水)・乙竹 充 (水研セ養殖研)・山本 淳 (鹿大水)

12:00~13:00

昼 休 み

座長：廣野育生（海洋大院）

- 13：00 111 抗体チップを用いた感染症診断の可能性
……………°松山知正・坂井貴光・釜石 隆・高野倫一・中易千早（水研セ養殖研）・
倉田 修（日獣大）・三吉泰之・福田 穰（大分水研）
- 13：15 112 ヒラメ抗体に認識される各種病原体抗原蛋白質の探索
……………°釜石 隆・松山知正・坂井貴光・高野倫一・中易千早（水研セ養殖研）・
三吉泰之・福田 穰（大分水研）
- 13：30 113 抗体・プロテインチップを用いたヒラメ感染症の検出
……………°中易千早（水研セ養殖研）・三吉泰之・福田 穰（大分水研）・松山知正・坂井貴光・
釜石 隆・高野倫一・乙竹 充（水研セ養殖研）・倉田 修（日獣大）

座長：和田新平（日獣大）

- 13：45 114 魚類におけるメラミンおよびシアヌル酸の毒性に関する研究
……………°高橋 了・鈴木真奈（三重大院生資）・Ketut Mahardika（Gondol Research
Institute for Mariculture）・宮崎照雄（三重大院生資）
- 14：00 115 養殖カンパチ稚魚及び飼育環境の衛生状況の調査について
……………°青木奈緒・木島まゆみ・川西路子・新居つかさ・山本欣也（動薬検）・村瀬拓也・
柳 宗悦（鹿児島水技セ）・二見邦彦・片桐孝之・延東 真・舞田正志（海洋大）
- 14：15 116 採血用濾紙を用いたビプリオ凝集抗体価の測定に関する基礎的検討
……………°青木奈緒・木島まゆみ・川西路子・新居つかさ・山本欣也（動薬検）・村瀬拓也・
柳 宗悦（鹿児島水技セ）・二見邦彦・片桐孝之・延東 真・舞田正志（海洋大）

座長：湯浅 啓（水研セ養殖研）

- 14：30 117 養殖カンパチの腎腫大症に関する研究－Ⅲ－中国産種苗に関する疫学情報－
……………°山下亜純・高木修作（愛媛水研セ）・浦崎慎太郎・森実庸男（愛南町水産課）・
和田新平（日獣大）
- 14：45 118 養殖カンパチの腎腫大症に関する研究－Ⅳ－感染試験の試み－
……………°山下亜純・高木修作（愛媛水研セ）・浦崎慎太郎・森実庸男（愛南町水産課）・
和田新平（日獣大）
- 15：00 119 養殖カンパチの腎腫大症に関する研究－Ⅴ－中国産種苗由来カンパチにみられた病理組織所見
……………°笠井大輝・和田新平・倉田 修・畑井喜司雄・畠山 仁（日獣大）・山下亜純・
平井真紀子・高木修作（愛媛水研セ）・浦崎慎太郎・森実庸男（愛南町水産課）
- 15：15 120 養殖カンパチの腎腫大症に関する研究－Ⅵ－人為感染供試魚にみられた病理組織所見
……………°尾関一輝・和田新平・倉田 修・畑井喜司雄・畠山 仁（日獣大）・山下亜純・
平井真紀子・高木修作（愛媛水研セ）・浦崎慎太郎・森実庸男（愛南町水産課）

15：30～15：45

休 憩

座長：横山 博（東大院農）

- 15：45 121 奄美大島のリュウキュウアユに寄生する微胞子虫
……………°丹羽 稔久（鹿大院水）・山本 淳（鹿大水）
- 16：00 122 被囊軟化症マボヤに存在する鞭毛虫の分子系統学的解析
……………°釜石 隆・三輪 理（水研セ養殖研）・橋本哲男（筑波大）・
伊藤 博・熊谷 明（宮城水技総セ）
- 16：15 123 マボヤ被囊軟化症のPCRによる診断
……………°熊谷 明・伊藤 博（宮城水技総セ）・釜石 隆・三輪 理（水研セ養殖研）

座長：三輪 理（水研セ養殖研）

- 16：30 124 プリの粘液胞子虫性脳脊髄炎の病理学
……………°横山 博・孟 飛（東大院農）・平井真紀子（愛媛南予地方局）・高木修作（愛媛水研セ）・
片桐孝之・延東 真（海洋大）・小川和夫（東大院農）

- 16 : 45 125 ヤイトハタにおける粘液胞子虫性やせ病の発生と加温飼育による予防・治療の効果
°知名真智子・中村博幸・濱川 薫・玉城英信 (沖縄水海研セ)・益岡壮太・
 盃 飛・横山 博・小川和夫 (東大院農)
- 17 : 00 126 Infection prevalence, host specificity and histopathology of *Sphaerospora epinepheli*
 (Myxozoa: Myxosporea) in five economic grouper species (*Epinephelus spp.*) in Thailand
°Kittichon U-taynapun・Nion Chirapongsatonkul・Butsarin Winit (Prince of Songkla Univ.)・
 伊丹利明 (宮崎大農)・Chutima Tantikitti (Prince of Songkla Univ.)
- 17 : 15 127 養殖クロマグロには2種の住血吸虫が寄生する
°小川和夫 (東大院農)・白樫 正・石丸克也・村田 修 (近大水研)

9月22日(水)

座長：西澤豊彦 (全南大学水医)

- 9 : 00 201 細胞の増殖過程およびCPE形成時の形態変化
°森 真希・笠井久会・吉水 守 (北大院水)
- 9 : 15 202 トラフグ口白症病原体の電子顕微鏡観察
°一色 正 (三重大院生資)・津田啓光 (三重大生資)・宮台俊明 (福井県大海洋生資)
- 9 : 30 203 コイヘルペスウイルスの魚体内感染組織の推移と脳への移行
°三輪 理・桐生郁也・湯浅 啓 (水研セ養殖研)
- 9 : 45 204 琵琶湖におけるKHVサーベイランス
°山本充孝 (滋賀水試)・三輪 理 (水研セ養殖研)

座長：沖中 泰 (広大院生物圏)

- 10 : 00 205 モノクローナル抗体によるVHSウイルス遺伝子型の識別
°伊東尚史・栗田 潤 (水研セ養殖研)・佐野元彦 (水研セ中央水研)・H. F. Skall・
 N. Lorenzen・N. J. Olesen (デンマーク工科大学獣医学研究所)
- 10 : 15 206 VHSウイルスの遺伝子型を識別するモノクローナル抗体のエピトープ領域の推定
°伊東尚史・栗田 潤 (水研セ養殖研)・佐野元彦 (水研セ中央水研)・H. F. Skall・
 N. Lorenzen・N. J. Olesen (デンマーク工科大学獣医学研究所)
- 10 : 30 207 マコガレイレオウイルス感染症のRT-PCR診断法の開発
°栗田 潤・伊東尚史・湯浅 啓・三輪 理 (水研セ養殖研)

座長：一色 正 (三重大院生資)

- 10 : 45 208 メダカ培養細胞におけるRNA干渉を利用した遺伝子ノックダウン法の最適化
°善家孝介・沖中 泰 (広大院生物圏)
- 11 : 00 209 ベータノダウイルスの温度感受性機構の解明-Ⅲ RGNNV型近縁株を用いた研究の効率化
°有安 亮・沖中 泰 (広大院生物圏)
- 11 : 15 210 マハタ稚魚のウイルス性神経壊死症防除における殺菌海水飼育の必要性
°渡邊研一 (東農大)・井手健太郎 (水研セ養殖研)・
 森 広一郎 (水研セ)・吉水 守 (北大院水)

座長：渡邊研一 (東農大)

- 11 : 30 211 等調液洗卵法による病原細菌およびウイルスの除去と卵内感染防除効果
°小原昌和・小川 滋 (長野水試)・笠井久会・吉水 守 (北大院水)
- 11 : 45 212 魚類病原細菌および一般細菌の人工感染試験による卵内感染機序の検討
°小原昌和 (長野水試・北大院水)・笠井久会・吉水 守 (北大院水)

12 : 00~13 : 00

昼 休 み

13 : 00

平成22年度日本魚病学会総会

13 : 30

平成21年度日本魚病学会賞受賞者講演

座長：大嶋俊一郎（高知大黒潮圏）

- 15 : 15 213 魚類細菌感染症のファージ療法の実用化に関する研究－Ⅰ ファージの投与回数と治療効果
.....°河東康彦・中井敏博（広大院生物圏）
- 15 : 30 214 Epidemiological studies on *Edwardsiella ictaluri* infection in wild ayu-V Characterization
of *E. ictaluri* by bacteriophages（アユの *Edwardsiella ictaluri* 感染に関する疫学的研究－Ⅴ
菌のファージ型）
.....E. S. Hassan・M. M. Mahmoud・Y. Kawato・°中井敏博（広大院生物圏）
- 15 : 45 215 *Edwardsiella tarda* の非運動性株に特有なⅥ型分泌装置の病原性への関与
.....°坂井貴光・松山知正・高野倫一・中易千早・飯田貴次（水研セ養殖研）

座長：福田 穰（大分水研）

- 16 : 00 216 ブリ類の類結節症に関する研究 Ⅰ. 初期病変
.....°永野一郎・大嶋俊一郎（高知大黒潮圏）・川合研児（高知大農）
- 16 : 15 217 ブリ類の類結節症に関する研究 Ⅱ. 原因菌の付着と侵入経路の分析
.....°永野一郎・大嶋俊一郎（高知大黒潮圏）・川合研児（高知大農）
- 16 : 30 218 ブリ類の類結節症に関する研究 Ⅲ. 原因菌の海水中での生存と毒性
.....永野一郎（高知大黒潮圏）・井上靖子（高知大農）・大嶋俊一郎（高知大黒潮圏）・
°川合研児（高知大農）
- 16 : 45 219 ブリ類の類結節症に関する研究 Ⅳ. 浸漬感染法によるワクチン効果の分析
.....永野一郎・大嶋俊一郎（高知大黒潮圏）・°川合研児（高知大農）

座長：熊谷 明（宮城水技総セ）

- 17 : 00 220 KDM-SRMs 培地による *Renibacterium salmoninarum* 生菌数の測定
.....°吉水 守・笠井久会（北大院水）・小原昌和（長野水試・北大院水）・
松井崇憲（大分水研）・西澤豊彦（全南大水医）
- 17 : 15 221 サケ科魚類の細菌性腎臓病（BKD）原因菌の PCR 法による検出条件検討
.....°川名守彦・湯浅 啓・大迫典久（水研セ養殖研）

座長：吉田照豊（宮崎大農）

- 17 : 30 222 *Streptococcus parauberis* の全ゲノム塩基配列の決定および構造解析
.....Seong-Won Nho・引間順一・In-Seok Cha（Gyeongsang Nat. Univ.）・近藤秀裕・
廣野育生（海洋大院）・Tae-Sung Jung（Gyeongsang Nat. Univ.）・
°青木 宙（海洋大院, Gyeongsang Nat. Univ.）
- 17 : 45 223 抗酸菌症を疑う養殖カワハギの疾病に関する病理組織学的所見
.....°深野華子・和田新平・倉田 修・畑井喜司雄（日獣大）・
水野かおり（愛媛県水研セ）・中永和枝（感染研）